

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	消防救急無線デジタル化事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	電波法 審査基準	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		消防			
施策	2	消防体制の充実			
基本事業	2	消防力の強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 消防救急無線の全設備														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	電波法の改正を受け、消防救急無線を平成28年5月末日までにアナログ方式からデジタル方式に完全移行する。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	通信員の習熟期間を経て、デジタル無線の運用を開始する。 (アナログ波の使用期限終了まではサイマル運用を行う)														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防救急無線のデジタル化</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	消防救急無線のデジタル化	○	○	-	-	-	
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
消防救急無線のデジタル化	○	○	-	-	-											

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成27年3月20日消防救急無線デジタル化事業が完了し、職員の習熟訓練を実施したのち、平成27年4月10日から運用を開始した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 連絡協議会開催参加回数	3	-				回
	2 実施設計・整備工事	整備完了	運用開始				
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	消防救急無線のデジタル化	○	○	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	%
今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況		完了			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	0	0
		決算額	0	0	0	0	0	0
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
0.0	0.0		0		0			

【事務事業名：消防救急無線デジタル化事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	253,910	0			
	うち一般財源	1,910	0			
	人件費	5,613	0			
	総事業費	259,523	0			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		特に大きな問題もなく移行できた。
	効率性	B:概ね効率的だった		特に大きな問題もなく移行できた。
②成果に対する評価	指標名	消防救急無線のデジタル化		計画のとおり、目標を達成することができた。
	目標	○	0	
	実績	○	0	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		アナログ無線からデジタル無線運用への円滑な移行が行えた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	/				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	/
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	/			
	平成29年度	/			